



星川 理恵子さん

茨城町出身

都内の短大卒業後、音楽事務所やPR会社、食品メーカーで企画制作・広報業務に携わる。平成30年7月に茨城町地域おこし協力隊に着任。

町の魅力を伝えることで育った町に恩返しをしたい

人との出会いは楽しい それを子どもたちにも知ってもらいたい



近藤 弘志さん

島根県隠岐郡西ノ島町出身

高校卒業まで島根県の離島で過ごす。その後、都内の大学に進学し、地域づくりを専攻。平成30年4月に茨城町地域おこし協力隊に着任。



①「いば3ふるさとサポーターズクラブ」オフ会の様子。
②国交省「水の里の旅コンテスト」表彰式。



平成30年7月からの活動

11月：茨城観光マイスター試験に合格。
11月：「ゆうちょマチオモイカレンダー2019」に沼沼の写真が選出。いば3ふるさとサポーターズクラブの会員として応募に関わる。
12月：国交省「水の里の旅コンテスト」にて「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会×茨城町」のチームが「観光庁観光資源課長賞」を受賞。本コンテストの応募と受賞式でのプレゼンテーションを担当。
平成31年2月：茨城町PRポスター制作のほか季刊誌Sunの記事制作を行う。



ゆうちょマチオモイカレンダー



水の里の旅コンテスト

■茨城町にUターン
平成28年、茨城町のインスタグラムを見つけ、東京にいなながら懐かしい気持ちで町の風景をスマートフォンで見ました。その後、町のファンクラブ「いば3ふるさとサポーターズクラブ」に入会。会報の「季刊誌Sun」でインタビューを受けることになり、久しぶりに町の人と関わったり町のことを知ったりする機会ができ、嬉しかったことを覚えています。

■町の魅力を伝えたい
私の協力隊としてのミッションは町の魅力発信です。企画制作や広報関連業務に長

らと思っています。

そんな町との再会をきっかけに、昨年7月茨城町に約30年ぶりにUターンし、地域おこし協力隊になりました。

両親が若い頃にここに住もうと決めて暮らした町、18歳まで育った町：今は親も親戚もないこの町に帰ってくることに少し勇気がいりました。近所の方がいつも声をかけ見守ってくれたり、いば3ふるさとサポーターズクラブを通じて町内外の方と知り合ったりしたことで、またこの町で暮らすことができるかなと感じて思い切っ

てきました。

てきました。